



まちのわだい

町内の主なできごとと、頑張っている皆さんの姿をお伝えします！



4/25
ナカムラ技建(株)が給水パック寄贈
町へ災害用給水パック350枚寄附

ナカムラ技建(株)代表取締役中村幸寛氏から、災害時などで使用する給水パック350枚(1枚4L用)が町へ寄贈されました。中村社長は「昨年の台風災害は、過去に記憶がなく、日頃お世話になっている町民の方に少しでも恩返しが出来れば」と話していました。



4/25
Caféノンノオープン
札内コミプラ内のCaféで賑わう

町社会福祉協議会が運営し、障がい者の働く場の提供を目的にした「Caféノンノ」が、札内コミュニティプラザ内でオープンしました。店名は、151通の公募の中から選ばれています。「ノンノ」はアイヌ語で「花」の意味。また、オープン初日には、多くの方が来店し賑わっていました。



4/19
しらかば大学ナウマン校新入生歓迎会
新入生迎え楽しいひと時

しらかば大学ナウマン校に新たに3人が入学し、新入生歓迎会が忠類コミュニティセンターで開催されました。在校生が専門科目で日ごろ活動しているダンスや民謡などを披露し新入生を歓迎。ビンゴゲームなども行われ、楽しいひと時を過ごしました。



4/20
わかば幼稚園郵便ポスト清掃
ポストぴかぴか！

郵政記念日(4月20日)に合わせ、わかば幼稚園の園児36人が幕別郵便局のポストの清掃を行いました。園児たちは背伸びをしながらポストを磨き、清掃後は3月で卒園したお友達に書いた手紙を投函。郵便局から清掃のお礼として消しゴムや下じきなどがプレゼントされました。



4/26
100歳の長寿を祝う
山田花枝さん100歳

山田花枝さんの百歳を祝う会が、ふらっと忠類で開かれました。花枝さんは昇さんと結婚後3女をもうけ、駒島で農業に従事。孫6人、ひ孫6人に恵まれ、平成27年から入居しています。飯田町長から記念品が手渡されたほか、職員と家族から花束が贈られ、多くの人から祝福を受けました。



4/29
菜の館ベジタ、ナウマン公園オープン
「ベジタ」オープンに来場客賑わう

J A忠類直売所「菜の館ベジタ」が営業を開始し、忠類産和牛ハンバーグの販売や豆すくい、タマネギ詰め放題などのオープンイベントにたくさんの方が訪れました。この日は隣接するナウマン公園もオープン。昨年新設された長さ40mのローラーライダーを家族で楽しんでいました。



4/21
忠類小学校交通安全教室
正しい交通ルールを学ぶ

忠類小学校で交通安全教室が開かれ、全校児童が交通ルールを学びました。1、2年生は6年生と一緒に路上コースを歩き、3年生以上は玄関前に作られた特設コースで自転車の走行練習を行い、交通安全指導員から安全な交差点の渡り方、正しい自転車の乗り方の指導を受けました。



4/24
万城目正記念SPレコードコンサート
蓄音機からの音色に耳を澄ます

町出身の作曲家「万城目正氏」の楽曲を蓄音機で聞くコンサートが、「万城目正と昭和歌謡を継ぐ会」の主催で百年記念ホールで開催されました。作品の楽曲11曲が、蓄音機を用いたSPレコードで流され、訪れた参加者は、蓄音機から流れる懐かしい音色に耳を澄ましていました。



町内高等学校の再編統合に関して 北海道教育委員会へ要望書を提出

4月14日㊤町内の北海道幕別高等学校と多田学園江陵高等学校の再編統合(新設道立高校)について、飯田町長が北海道教育委員会へ要望書を提出しました。要望書の内容や提出に至った経緯については、次のとおりです。

▶要望の背景

少子化の進展による影響から道内では、中学校卒業生数が昭和63年をピークに減少し平成27年度は、ピーク時に比べ半減している状況にあります。町においても、昭和63年度の442人をピークに平成28年度には、284人とピーク時に比べ158人、3割以上減少しています。また、北海道教育委員会の公立高等学校配置計画案における中学校卒業生数の推計には、町の平成28年度と35年度(249人)の比較で、35人、12.3%の減少となる見込みが示され、帯広市内や学区内(十勝管内)においても同様の傾向にあり、今後、おおむね1割程度生徒数が減少するとされています。

▶幕別町後期中等教育を考える懇話会の設置

- ①設置目的 町における後期中等教育の安定的な確保等、中・長期的な展望
- ②構成 平成27年10月、中学校の保護者等10名で組織
- ③検討内容 町内に設置されている高校の現状把握を行うと共に、中学校生徒・保護者の進路意向等を調査し、本町の後期中等教育の今後の方向性を検討
- ④報告書 平成28年6月、町教育委員会へ「本町における高等学校の展望について」を提出
- ⑤報告内容 北海道教育委員会が作成した「新たな高校教育に関する指針」で示す、「学校規模を1学年4から8学級の学校」の設置を含めた道立高校普通科を町内に残すことについて、町として北海道教育委員会に求めるよう最大限の努力を行っていただきたい等の内容の報告を受けました。

▶町と教育委員会の対応

幕別町後期中等教育を考える懇話会からの意見を受け、町と教育委員会が検討を行い、町における後期中等教育が安定的かつ持続可能で、生徒や保護者が求める後期中等教育の確保を図るため、町内の高校の再編等について、平成29年2月8日㊤に江陵高校の多田理事長に対し、次の内容の要請を行い同意の回答を受けました。
◆平成31年4月に幕別高校と江陵高校の再編統合を行い、再編統合校は江陵高校校舎の活用を要請する。

▶北海道教育委員会への要望内容

- ①現江陵高校校舎を活用し、平成31年4月に幕別高校と江陵高校の再編統合により新たな道立高校の設置
- ②2校統合後の1学年の学級数は、北海道教育委員会が策定した「新たな高校教育に関する指針」で示す、全日制課程の高校の望ましい学校規模の4から8学級を基本とし、一定の教職員集団からなる1学年4学級の高校
- ③統合後の学科は、全日制普通科としフィールド制[※]や単位制の採用などにより、生徒・保護者が求める地域特性を勘案した魅力ある選択群やコースからなる高校
- ④東部十勝において高校教育を受ける生徒の選択肢を確保するとともに、通学利便性や保護者の負担軽減が図られるよう全日制普通科高校の設置



北海道教育委員会柴田教育長へ要望書を提出する飯田町長

上記4点について、要望を行い北海道教育委員会では、「本年6月の公立高等学校配置計画案で、方向性を示せるよう要望内容を速やかに検討」との意向が示されました。

町として今後も引き続き、9月に決定する「公立高等学校配置計画」に盛り込まれるよう要望の実現に向けた働きかけを行います。

※フィールド制とは、興味・関心や進路希望に応じて特定の分野を選択し学習するシステム

4/29 叙勲の受章 おめでとうございます



ほんぼ まさよし
本保 征喜さん(72歳)
札幌市青葉町在住
きよくじつこうこうしょう
旭日双光章
(地方自治)

4月29日㊤に春の叙勲が内閣府から発表され、本保征喜さんが旭日章受章の栄誉を受けました。本保さんは、昭和19年幕別村駒島生まれ。道立農業講習所修業後、農業に従事し、昭和62年5月から平成19年4月までの5期20年間、町議会議員を務め、最後の8年間は議長として議事をけん引されました。今回の受章では、「身に余る光栄、多くの皆様に支えていただいた結果。議会として、定数削減に取り組んだことが印象に残っている。」など多くの感想を話していました。また、5月2日㊤に札幌市で開催された勲章伝達式に出席し、北海道知事から勲章を受け取りました。

※旭日章…国家または公共に対し功労があり、公務等に長年従事した方に授与される勲章。旭日双光章は旭日章6つのうち5番目に位置する。

5/10



まくべつ混声合唱団がピアノカバー寄贈

新しい札幌コミュニティプラザへ

まくべつ混声合唱団(団長沖田道子さん・会員34名)から、札幌コミュニティプラザに設置されているアップライトピアノのカバーが寄贈されました。まくべつ混声合唱団は、週1回札幌コミュニティプラザで、ピアノを使用し活動しています。沖田団長は、「施設が新しく建設された記念といつも使用しているピアノを大切に」と話していました。また、アップライトピアノのカバーは、ピアノの型番を調べ特別発注されたものです。

5/11



古舞小学校バードハウス教室

巣箱づくりで自然を学ぶ

NPO法人フェザードフレンドの指導のもと、古舞小学校の全児童21名を対象に「バードハウス教室」が行われました。児童たちは工作キットを組み立て、鳥が好むという赤や黄色に着色したり、木の枝やビーズで飾りつけるなど、個性豊かなバードハウスを完成させました。



5/14



春の全町一斉クリーン作戦

稲志別・文京・西和に203人が参加

町民参加の清掃活動「全町一斉クリーン作戦」が稲志別、札幌内文京町、西和の3地区で行われ、203人が参加しました。ゴミのポイ捨てが後を絶たない状況ですが、皆様のご協力により770kgのゴミが拾い集められました。多くの方のご参加ありがとうございました。

